

本 社

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6201-2763 FAX:06-6201-2768

大阪本店

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17 M&Mビル4F
TEL:06-6201-2762 FAX:06-6201-2769

東京本店

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-23-1
TEL:03-3808-2071 FAX:03-3808-2079

九州支店

〒812-0038 福岡市博多区祇園町1-23
アルテハイム祇園2F
TEL:092-262-2401 FAX:092-262-2405

中部営業所

〒511-0801 三重県桑名市今島江向1818
TEL:0594-33-6831 FAX:0594-33-6832

京滋営業所

〒615-8118 京都市西京区川島三重町88-3-307
TEL:075-382-1367 FAX:075-382-1368

奈良営業所

〒630-8247 奈良市油阪町446-6 第一山ロビル3F
TEL:0742-20-5131 FAX:0742-20-5132

阪神営業所

〒669-1101 兵庫県西宮市塩瀬町生瀬1131
TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889

生瀬碎石所

〒669-1101 兵庫県西宮市塩瀬町生瀬1131
TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889

社機材センター

〒673-1462 兵庫県加東市藤田944-214
TEL:0795-42-8490 FAX:0795-42-8491

<http://www.morigumi.co.jp>

喜びを喜びに

CSR REPORT
2008

JOY & JOY

喜びを喜びに



私たちの仕事はその思想もカタチも、次代へと繋がり残るものだから
 企業はもちろん全社員が、常に大きな社会的責任を担っています。
 創業以来100年余り、激動の時代を生き抜き
 着実に成長を遂げてきた背景には
 社会的責任とともに、全てのステークホルダーのみなさまに信頼され、
 満足を感じ喜んでいただけることを
 何よりの喜びと考える企業姿勢が存在しています。
 森組は、社会や環境と共生しつつ、みなさまの喜びを喜べる企業として
 堅実にかつ進取的に歩みつづけます。

CONTENTS

目次

- 03 | トップインタビュー／プログレスレポート
- 05 | 健全な経営
経営理念／コーポレートスローガン／
 経営方針／行動規範／コーポレートガバナンス／
 コンプライアンス／リスクマネジメント
- 11 | 多彩な事業
建築・土木事業／リフォーム事業／砕石事業／
 土壌汚染浄化事業／魅力あるまちづくり
- 15 | 高い品質
ISO 9001の取得／品質目標と達成／
 品質マネジメントシステム／優良工事表彰
- 17 | 確かな安全
安全衛生方針／安全衛生目標と達成／
 労働安全衛生マネジメントシステム／
 労働災害防止推進大会／安全衛生委員会
- 21 | 守りたい環境
環境方針／Mソイル／高次団粒SF緑化工法／
 高品質砕砂／土壌汚染置換材／
 ISO 14001の取得／環境目標と達成
- 25 | 望まれる社会貢献
緊急資材の配備／災害時活動地域協定／
 地域社会とのコミュニケーション
- 27 | 責任ある社員育成
人事制度／人材育成／各種制度／福利厚生
- 31 | 森組 会社概要
会社概要／組織図／主要取引先／
 IR情報／沿革

編集にあたって…

森組のCSRへの考え方や活動について、できる限り簡潔に
 表現し、わかりやすい誌面づくりに努めました。
 このレポートが、ステークホルダーのみなさまと森組とのコミュニ
 ケーションを図るツールとなれば幸いです。
 みなさまが「森組について知りたいこと」、森組が「みなさま
 へ伝えたいこと」を、このレポートにてお届けしたいと考えて
 います。

対象期間

2007年4月1日～2008年3月31日
(一部対象期間以前、もしくは以後直近の活動内容も含まれています)

発行

2008年10月1日

株式会社 森組 CSR統括部
 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
 TEL: 06-6222-5094 FAX: 06-7732-4996
 URL: <http://www.morigumi.co.jp>

TOP INTERVIEW
トップインタビュー成熟化した社会の新たなステージに
フィットした会社の姿に

一般的に、建設業は厳しい経営環境が今後も続くと考えられますが、森組のCSRについて、どのようにお考えですか？

今、地域は様々な問題を抱え疲弊しています。私は社長就任以来「持続可能な地域社会を実現するためにどんな責任を果たせるか」について考えてきました。

わが社は「100年を超える実績と伝統のある企業である」といったところで、それだけではお客様にとっては、何ら価値を感じないものと思っています。人が生活を営む上で、どのような価値を提供できるかを明確に示すことこそが、ひいては企業の安定・継続的な経営に繋がるものと考え、一昨年、いち早く思い切った経営の『構造改革』に取り組みました。

そして、昨年5月、それまで筆頭株主の阪急電鉄と協議の上、マンションディベロッパーの雄である長谷工コーポレーションと3者間で、わが社を戦略的提携パートナーとしての位置づけを頂き、住宅関連の建築事業領域、そしてこれまでの鉄道ならびに一般土木事業領域、さらに商業、業務などのリフォーム事業領域、そして80余年の実績を持つ碎石事業領域とコア・コンピタンスのラインナップを明確にし、完全事業本部制を敷いてエリア選択・集中を明確にした経営のポートフォリオを実現しました。

これらの事業領域において、わが社の優れた技術で環境に配慮したハードやソフトの提案を行うことで、地域社会を新たなステージに導くことこそが、わが社のCSR経営に繋がっていくと信じ、尚一層の研鑽を推進しています。

代表取締役社長 山本光一

PROGRESS REPORT
プログレスレポートスピーディーに
変革するための広角的施策

2007年度から2008年度にかけて以下の7つの施策を掲げました。

- ① パワーの集中と経営可視化の実現
- ② 経営資源の最有効配分
- ③ ヘッドクォーター化の再配置
- ④ 管理会計と財務会計の連動化
- ⑤ 人材・情報・不動産・金融の融合組織
- ⑥ 安全管理体制の再構築
- ⑦ 事業独立採算性の強化

卓越したビジネスモデルの確立を目指して

今後森組は理想とするCSR経営実現に向けて、厳しい経営環境下でのようなパワーが必要だとお考えですか。

世界的な資源高の影響を受けて、主要建材価格が高騰し、利潤を大きく圧迫する中で、受注においては、既に公共工事はピーク時の50%まで減少し、ここ数年好調であった民間住宅事業もマンションの需給バランスが崩れ、ターニングポイントを迎えたと言えます。

私は森組のCSR経営実現のために、ISO国際規格、法令遵守、環境配慮などは勿論のこと、次の5点を可視化したビジネスモデルの確立を行いたいと考えています。

すなわち、(1)徹底的に土木・建築の設計・施工及びリフォーム関連の技術力を磨き、(2)事業を実施する企業が欲しいダイレクトな情報力を向上させ、(3)総合的な価値を感じ取れる企画力を洗練、共有化し、(4)様々なパートナーと共にコスト力の変革を協働し、(5)バランス感覚のある社員を育成することで、競争優位性を発揮し差別化できる事業領域においてビジネスモデルの確立が可能と考えており、その構築を早期に実現したいと考えています。

そのためには、経営者として、この不透明な時代を生き抜く2つのリスク・マネジメントを社員に示していきたいと考えています。

その1つは、果敢で決してひるまない絶えず前進する判断、もう1つが、リスクを徹底的に回避するデータに基づいた判断指標の確立であり、成熟社会にフィットした他者に類を見ないCSR経営を実現できるものと確信し、日々の事業活動に専念していきます。

代表取締役副社長 村上和朗



事業協力体制





JOY & JOY 信頼を喜びに

100年の後も、変わらないこと。
この100年、変えてきたこと。

信頼されることは、何よりの喜びです。

新しい時代に合わせて刷新してきた技術や理論、合理性の追求。

社会のニーズに応じて創造してきた居住空間や都市空間。

自由自在に変化を遂げたもろもろの一方で、

草創期より変わることのない、堅実経営の理念があります。

誠実に、真摯に、着実に・・・ちょっと硬いこの姿勢こそが

森組が信頼され続ける由縁です。

経営理念

『最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を』

私達は、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。

そしてお客様が、私達の提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んで頂けることを、

私達の最大の喜び・明日への糧とし、

さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

コーポレート
スローガン

JOY & JOY

喜びを喜びに

経営方針

1. 将来を見据えた人材育成
2. たゆまぬ努力による品質の保持・管理
3. 全社を挙げての事故・災害の撲滅
4. 適切なコスト、適正な価格の追求
5. 遵守事項の厳格運用
6. 地球環境との共存共生

行動規範

1. Change 守旧を打破する変革邁進
2. Create 智慧を絞った改善提案
3. Challenge 視野を広げて積極挑戦
4. Communicate 内外も縦横斜めも意志疎通
5. Speed 待ったなしでの迅速行動

安全と信頼が何より優先される企業

全てのステークホルダーのみならず安心して暮らせる社会のために、森組は安全と信頼が何よりも優先される企業であるべきだと考えています。その観点から、迅速経営と効率性・透明性の追求を基本的考えとし、コーポレートガバナンスの改革を推進しています。

具体的な取り組み

1 執行役員制度の導入

迅速な意思決定、
企業経営の効率化を目指します！

経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離。取締役会においては主に中長期的経営戦略の立案及び経営方針の意思決定を行い、業務遂行においては執行役員が責任を持って実務にあたります。

2 社外監査役を選任

経営の妥当性・効率性を監査、
企業の健全性確保に努めます！

社外監査役として2名選任、経営の監視面において客観性の確保が十分機能する体制を整えています。森組が社会の一員として適正な活動を行っているかを第三者の目で監視しています。

3 監査法人による外部監査の実施

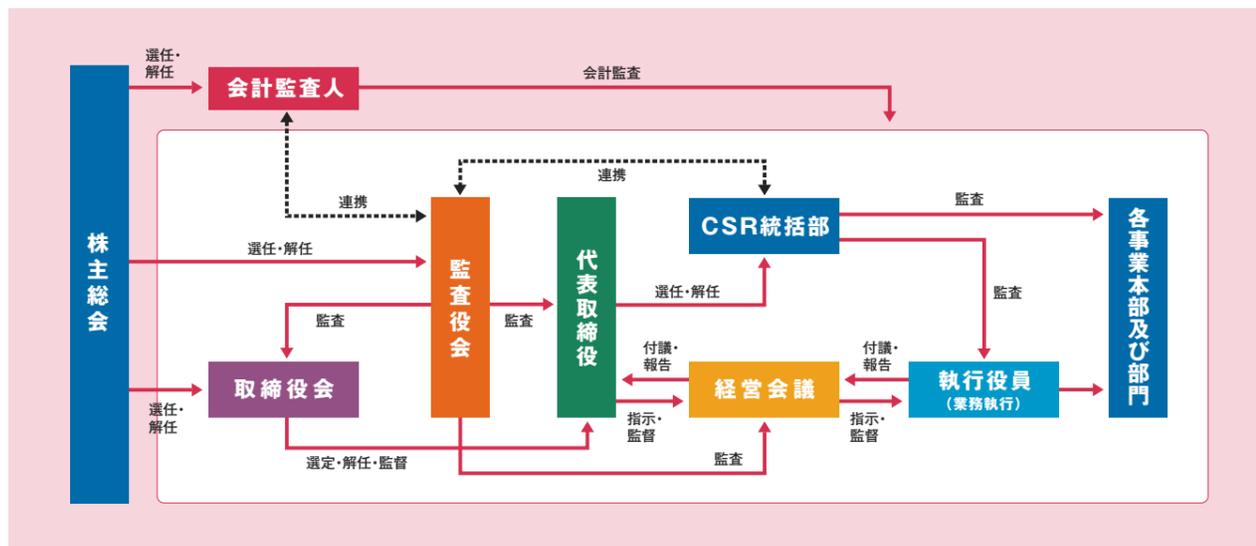
信頼される健全な経営と透明性に努めています！

会社法及び証券取引法等の会計に関する監督強化のため、監査法人を会計監査人として採用しています。大手監査法人のひとつである「あずさ監査法人」が株主総会で選任されています。

監査役・監査人

- 常勤監査役1名、社外監査役2名
- 会計監査人 あずさ監査法人

コーポレートガバナンス体系図



2008.6.27現在

内部統制システム強化への取り組み

森組では2006年5月開催の取締役会において「内部統制システム整備に関する基本方針」を決議し、この方針に基づいて適切な運営に努めています。
また、基本方針については毎年見直しを行ない、健全なシステムの整備に取り組んでいます。

内部統制システム整備に関する基本方針

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合すること、並びに業務の効率性の確保及びリスクの管理に努め、社会経済情勢、その他環境の変化に対応するため、内部監査部門を設置し、内部監査を含め内部統制システムの検証と評価を行ないます。

具体的体制の整備

- 1 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制**
 - コンプライアンス研修の実施
 - 内部通報制度の設置
 - コンプライアンス経営を脅かす重大事象発生時の検討委員会の設置
 - 社長直轄の内部監査部門 (CSR統括部) の設置と内部監査の実施
- 2 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制**
 - 文書の保存・管理に関する規程に従う適切な保存と管理
- 3 損失の危機の管理に関する規定その他の体制**
 - 子会社も含めたリスクの想定・分析と不測事態発生時の緊急連絡体制の整備
 - 重大リスク発生時に損害の最小化を図る「危機対策委員会」の設置
- 4 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制**
 - 重要な業務執行は経営会議の審議を経て取締役会で決定
 - 権限と責任の所在と執行手続の詳細を定め、重要な業務執行は取締役会に報告
 - 業務のIT化を推進し、その進捗状況等の内部監査の実施
- 5 企業集団における業務の適正を確保するための体制**
 - 子会社に関する責任取締役を任命し、内部統制整備状況を内部監査部門に報告
- 6 監査役を補助すべき使用人に関する事項及びその使用人の取締役からの独立性の確保に関する事項**
 - 監査役が必要に応じて、監査役の職務を補助すべき使用人を配置
 - この使用人の独立性確保のため、異動・評価等に関して監査役と協議
- 7 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制、その他監査役への報告に関する事項**
 - 監査役出席の取締役会及び経営会議において重要事項の報告を行い、取締役と監査役の意見交換会を別途開催
- 8 財務報告の信頼性を確保するための体制**
 - 取締役会は、財務報告とその内部統制に関し、代表取締役社長を適切に監督
 - 代表取締役社長は、本基本方針に基づき、財務報告とその内部統制の構築を行い、その整備・運用を評価

コンプライアンス（法令遵守）

信頼される企業であるために、 まず私たちがやらなければならないこと

森組は誠実な心と思いやりの気持ちが信頼に繋がるのだと考えています。そのために私たちがやらなければならないことを従業員一人ひとりが考えて行動する。森組は社会の一員として、法令及び定款、規程、企業倫理等に背くことのないコンプライアンス経営を徹底して推し進めます。

具体的な取り組み

1 推進組織 ~CSR統括部~

森組は企業としての社会的責任を果たし、より豊かな社会を次世代の人々に継続して引き継ぐサステナビリティを目指すためにCSR統括部を設置しております。
CSR統括部では文字通りの役割のほかに、コンプライアンスを推進し、従業員への意識づけはもちろんのこと、各部署の責任者や役員員に対しての指導や教育にも重要な役割を担います。

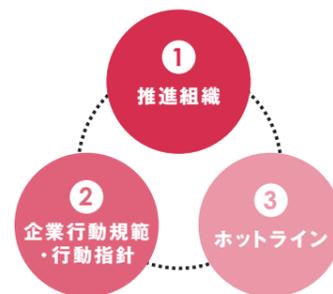
2 企業行動規範・行動指針

公正な競争、接待や贈答、公務員との関係など、ステークホルダーのみならずの信頼を得るために従業員全員が守っています。
また、役員員を対象にしたコンプライアンス研修も実施し、行動規範・行動指針の実践を指導しています。さらに管理職以上の役員員はコンプライアンスの遵守を誓約しています。

3 ホットライン ~相談窓口を設置~

2006年10月に従来の相談窓口を変更して内部通報（相談）窓口を設置し、従業員からの業務上の相談を受けつけて迅速に対応する体制を整えています。従業員の日常業務の中で組織的、または個人による法令等違反行為・反倫理行為（社内規程・ルールを含む）が行なわれた場合、またはその恐れがある場合に通常の業務ラインとは別に通報・相談することができる窓口です。

〈 推進のための基本体制 〉



リスクマネジメント（危機管理体制）

災害に対する危機管理が 森組のトッププライオリティです。

森組の企業活動の中でお客さまに提供する「最高の品質と最良のサービス」をとりまく環境は、常にあらゆる災害の影響を受けるリスクをはらんでいます。ひとたび大きな災害が発生すれば会社経営を圧迫し、存続の危機に陥るばかりではなく、社会に極めて重大な影響を及ぼす可能性もある災害危機。森組はこの災害に対する危機管理体制を整え、速やかに対処できる仕組み作りを進めています。

防災への取り組み

事故や災害発生の可能性の低減を目指す「防災対策」と、発生後の「緊急対策」をひとつの流れとしたシステムで対応するため「防災マニュアル」を設定し、被害を最小限にするための“体制”と“行動要綱”等を定めて万一の時に備えています。

1時間ルール

普段より緊急連絡体制を確立して事故や災害が発生した場合は、1時間以内に会社のトップまで報告することを義務づけた「1時間ルール」を実行しています。

緊急体制

事故・災害のレベルに応じた3段階（レベル1～3）の「災害対策委員会」を整え、人命保護を最優先に被害の拡大を最小限に抑える対応を可能にしています。

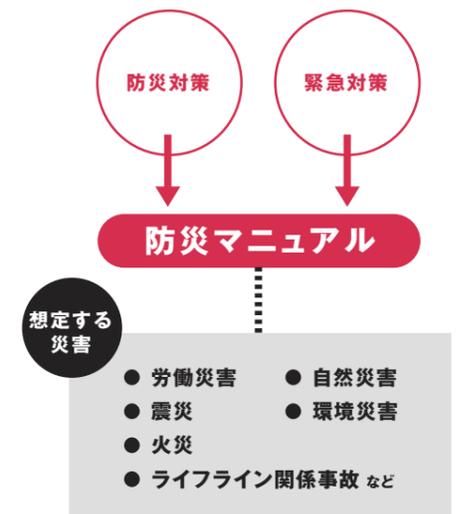
再発防止

災害対策委員会の設置とともに「再発防止グループ」を立ち上げ、災害防止の観点から独自の調査・分析活動を通じて再発防止の徹底を目指しています。

防災への備え

「防災の心得」を全従業員に配布して防災知識の向上を図っています。また、訓練やパトロールの実施、点検の重要性を常に意識するよう指導するとともに実践を徹底しています。

〈 一本化した防災マニュアルの設定 〉



情報管理への取り組み

情報管理への取り組み

- 個人情報管理規程を制定
- 電子情報セキュリティ推進委員会を設置
- 電子情報セキュリティ啓蒙活動の実施
- 電子情報セキュリティ管理規程の制定と定期的な見直し

個人情報の保護

森組では個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を定めウェブサイトに掲示し、個人情報の取得及び森組が有する情報の管理や取り扱いについて、管理規程を定めて個人情報の保護に取り組んでいます。

電子情報セキュリティ

インターネットや超小形記録媒体など、昨今の電子情報伝達ツールの普及に伴い、企業の管理する電子情報が漏洩・盗難されるという事件が多発しています。
森組では「電子情報セキュリティ推進委員会」を設置するとともに、イントラネット等を利用して電子情報の取り扱いや漏洩・改ざん防止について定期的に啓蒙活動を行なっています。また、定期的に「電子情報セキュリティ管理規程」を見直し、高いセキュリティレベルの維持に努めています。



JOY & JOY 人々の笑顔喜びに

何よりも上質を重んじる。 社会資本と暮らしを支える。

快適生活や交通・物流などに欠かせない都市インフラ整備。

豊かな都市生活や産業の発展・維持に貢献する建築物。

建築・土木・開発・管理など森組が手がける多彩な事業の基本にあるのは、
最高の品質と技術力を惜しみなく注ぐ姿勢。

安全と信頼が見える事業によって人々の笑顔は生まれます。

たくさんの笑顔に出会えることが、私たちの喜びです。

社会的責任を果たす森組の事業

安全と信頼は1899年の創業から 一貫して変わらぬ森組の社会的責任です。

森組は建設事業に携わる企業として、社会的責任の重さを日々痛感しています。都市インフラ整備は時として環境問題と密接に関係し、また暮らしを支える安全という観点において私たちの事業が担う責任も重大です。「人々が安心して生活できる社会を創造する」それが私たちの社会貢献であるという経営理念。この思いを喜びとしながら、同時に社会的責任を果たす企業でなければならないと森組は考えています。

建築・土木事業

経営理念に掲げる 「最高の品質と最良のサービス」

ステークホルダーのみならずとの信頼関係を全てのプロジェクトの基盤と考え、施工に当たり情報開示するのみならず、見学会を開催するなど情報の発信にも努めています。



また、安全と品質の管理を徹底し、利用する人々が安心して暮らせる社会を創造します。

◀ 町立大淀桜ヶ丘小学校 (奈良県)

砕石事業

ゼネコンと砕石業界のネットワークを構築し、資源の有効活用に努めています。

建築・土木事業において自然の恵みを採取して活用することは、避けられない行程であり、大切な経営資源です。だからこそ、これらの恵みを大切に使い、そしてまた自然にかえすことは私たちの責任ある重要な事業のひとつです。兵庫県西宮市生瀬に所有する砕石所では、幅広い商品群とMソイル、高品質砕砂などの生産を行い(P22・23参照)、限りある砕石資源の有効活用と安定供給に貢献しています。



生瀬砕石所 (兵庫県) ▶

リフォーム事業

リフォーム工事の分野でもゼネコンのノウハウと技術力で活躍しています。

建物に求めるデザイン性や機能性は、お客様のビジネスシーンやライフスタイルに合わせて変遷します。森組は多様な工事で培われた豊富な経験をもとに、今ある建物に新たな役割を与えるリフォーム工事を通じて、建物の再生に貢献しています。



第一ホテル東京 (東京都)



三木サービスエリア (兵庫県)

土壌汚染浄化事業

環境ソリューションの事業展開を目指しています。



▲ オンサイト洗浄プラント&システム

土壌汚染対策法が2003年2月に施行されたことを契機に、空気や水の汚染と同様に土壌の汚染の問題がクローズアップされてきています。森組では建築・土木・砕石の各々の技術・ノウハウを集積し、明日の世代へ住み良い環境を残すために、土壌汚染調査から対策の提案・施工、さらにはその後の土地の有効利用の提案まで含めたトータルサービスを提供しています。

土壌汚染調査から対策の提案・施工、さらにはその後の土地の有効利用の提案まで含めたトータルサービスを提供しています。

森組が活躍する
魅力あるまちづくり

森組は生活・教育・文化・福祉・商業・スポーツ・エネルギー関連など、
さまざまなシーンで、人々の暮らしを豊かにする事業を展開しています。



▲東伯中山道路 赤碓第2高架橋 (鳥取県)



▲圏央道牛久稻敷地区改良 (茨城県)



鳥取自動車道釜坂第二トンネル (鳥取県) ▼

トンネル

道路



▲プロケイト南茨木 (大阪府)

リフォーム

護岸

大阪沖埋立処分場護岸 (大阪府) ▼



教育施設



町立大淀桜ヶ丘小学校 (奈良県) ▲

公共施設



▲大洲市肱北浄化センター (愛媛県)

住宅施設

グランシティ葉山南 (神奈川県) ▼



商業施設



彩都 天然温泉「すみれの湯」 (大阪府) ▼



ランドシティ本厚木 (神奈川県) ▼



ファインスクエア沼津駅前 (静岡県) ▼



▲サムティ大淀中 (大阪府)



JOY & JOY 品質を喜びに

信頼に、最高の品質で応える。
それが、私たちの誇り。

日々進化してゆくテクノロジーに、最高の品質と
高度な技術に支えられた専門性で対応します。
道路、下水道、教育・福祉施設、商業施設、マンションなど
私たちが手がけるのは、何よりも安全性が問われる建造物。
誠実・堅実・真面目をモットーに、
安心の社会と暮らしをお届けできるのは、大きな喜びです。

確かな技術と品質

森組が目指すのは最高の品質と最良のサービス！

森組の品質方針は経営理念そのものです。私たちは経営理念を具現化するため、お客さまのご要望にお応えできる品質マネジメントシステムの確実な実践とその継続的改善に努めています。創業以来109年にわたる技術の蓄積と経験に裏付けされた豊かな提案力と確かな施工力を結集してお客さまのご満足を実現いたします。

経営理念 (品質方針)

「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」

私達は持てる技術・業務に常に磨きをかけ、
お客さまの要望に的確にお応えするよう歩みつづけます。
そしてお客さまが私たちの提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり、喜んでいただけることを私たちの最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

ISO9001の取得

品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001:2000を取得し、土木構造物及び建築物の設計、施工及び点検サービスなど全社で積極的な改善活動に取り組んでいます。

ISO9001登録証 ▶



森組の2007年度 品質目標と達成

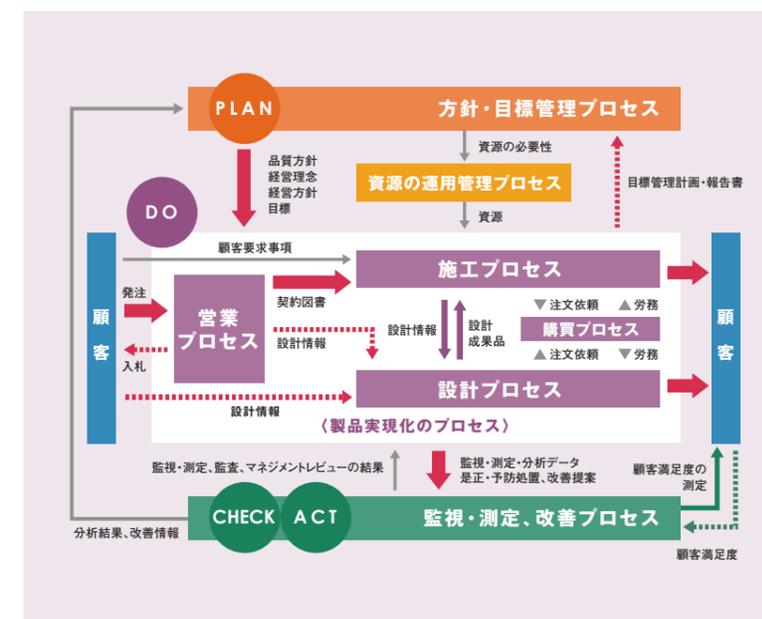
品質目標と結果

森組では土木部・建築部それぞれが2007年度内に完成する全現場を対象に、工事の優れた完成度や顧客満足度についての目標値を定めて品質向上に努めた結果、完成現場で目標値をクリアすることができました。

達成度



品質マネジメントシステムの相互関係



優良工事の表彰

建築・土木工事において
完成度の高さを評価され、
感謝状を頂きました。

東名高速道路(改築)
厚木IC橋工事
【2007年10月10日】



太田市弘北浄化センター
建設工事
【2007年11月7日】



大淀町立大淀桜ヶ丘
小学校校舎建設
【2007年11月7日】



兵庫県立
芸術文化センター建設
【2007年11月16日】





JOY & JOY 安心を喜びに

高い安全意識で守られた環境。
それを、ごく当たり前として。

私たちのすべての現場で、安全衛生目標が厳守されています。
森組が取り組む労働安全衛生マネジメントシステムは、
働く立場の人間はもちろん、周辺住民のみなさまや
たくさんのステークホルダーのみなさまに
安心と感動、喜びを実感していただく必要不可欠の要素。
安全対策の確立と実施は、大きな信頼と理解に繋がります。

働く喜びは安全な職場環境から

労働安全衛生とは従業員のための安全と衛生に関すること全般を言います。建設事業に携わる森組では、多くの従業員が危険と隣り合わせの環境で働いています。
こういった環境で事故・災害を引き起こさないことは、従業員はもとより近隣住民のみなさまの安全をも担うことに繋がります。すべてのステークホルダーのみなさまに喜びと感動をお届けする、そのためにはまず従業員が快適であり、周辺住民の方々に安心していただけるように作業を進めることが必要不可欠です。「安全な環境から喜びが生まれる」この気持ちを大切に、森組ならびに関係する工事業者全員が具体的な安全対策を含めた安全衛生活動の積極的な推進に努めています。

安全衛生方針

私たち森組は、『安全はすべてのものに優先する』を企業活動の最重要課題と位置づけ、積極的な安全衛生活動を展開し、『事故・災害の撲滅』を目指します。
そして、働く全ての人たちが、『快適な職場』のもと、『健康な心と身体』で安心して働ける環境の整備に努めていきます。

森組の2007年度 安全衛生目標と達成

安全衛生目標と結果

森組では2007年度の労働安全衛生目標として、“当社はすべての作業所で「不安全行動による災害防止」を目指す”をスローガンに安全活動を展開いたしました。その結果、死亡事故等の重大災害はなかったものの、残念ながら休業4日以上の労働災害が2件発生しました。
〔参考〕 2007年度 度数率 0.71 ※2006年度 度数率 0.98
※度数率とは・・・労働時間100万時間あたりの労働災害による死傷者数

達成度



改善

2008年度へ向けて

2007年度の結果を踏まえ、2008年度は次の3点をさらなる重要実施事項として、安全で安心できる快適な職場環境の整備を行ないます。

労働者教育のさらなる拡充

効果的な安全巡視活動の実践・強化

リスクアセスメントの定着

2008年スローガン

- 『災害ゼロ』を目指す
- 快適な職場環境・労働環境づくりを推進する

2008年安全衛生目標

- 災害発生件数の30%減少(前年度比較)
- メンタルヘルスケア対策の推進

労働災害防止に対する2008年度重点実施項目

安全衛生教育に関して

- 1 送り出し教育の指導強化
- 2 作業手順周知会、入場者再教育の計画的な実施
- 3 普通救命講習受講の奨励

効率的な安全巡視活動に関して

- 1 3回/日以上現場安全巡視の実施
- 2 KYKの充実とヒヤリ・ハットの水平展開
- 3 危険有害要因の調査・抽出と対応措置の拡充

労働環境・職場環境の充実にに関して

- 1 快適職場認定取得の推進
- 2 労働時間短縮・休暇取得の奨励

喜びと信頼を生む安全

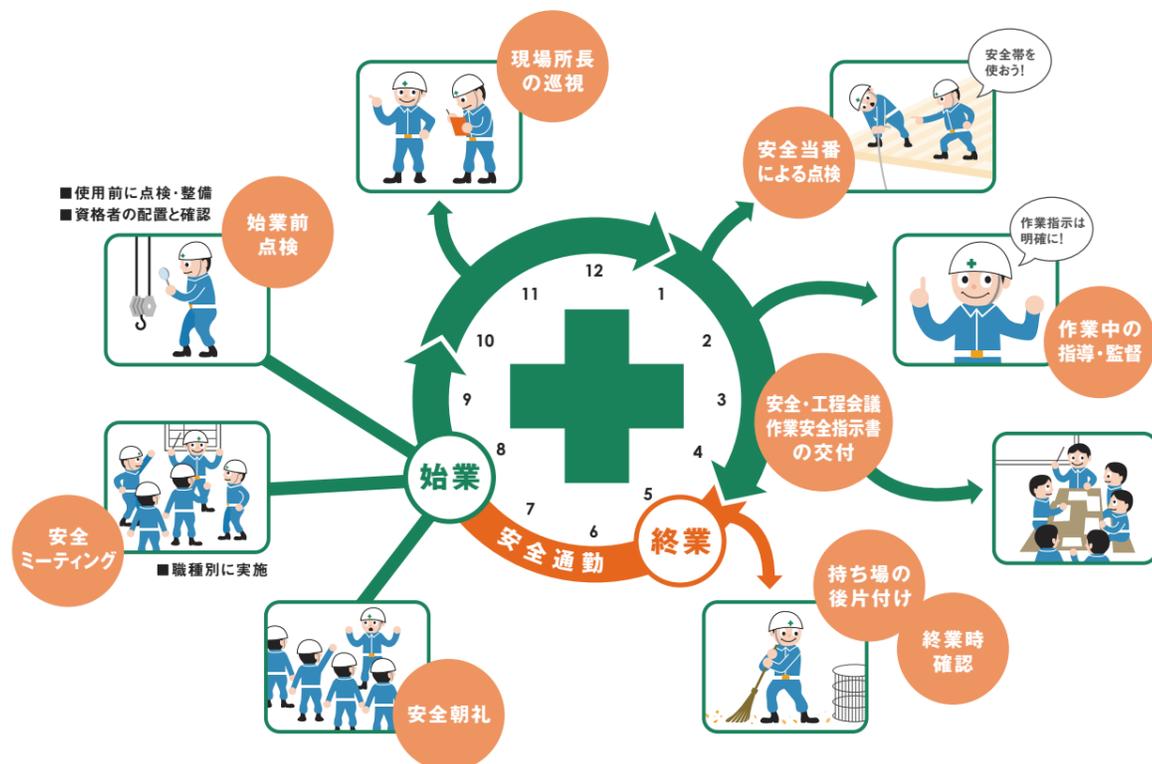
労働安全衛生マネジメントシステムへの取り組み

- 1 労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、システムが円滑に運用されるよう基本的事項を具体的にまとめて全従業員に周知しています。
- 2 システムの運用にあたっては方針・目標を定め「リスクアセスメント」を基本に安全衛生管理計画を策定し、運用しています。
※リスクアセスメントとは・・・安全を妨げる要因を特定し、それらを分析して評価すること
- 3 問題点の把握・是正処置を行い、継続的な改善を実施します。

システムのメリット

- 1 安全衛生管理・活動の確実性と効率性が図れる。
- 2 安全衛生活動に関する日常の地道な活動が公正に評価されることに繋がる。
- 3 健全性、信頼性のアップに繋がる。
- 4 安全衛生水準の連続的、継続的な向上が図れる。

現場における1日の安全施工サイクル



労働災害防止推進大会の実施

当社は、森組・MOST会共催による「労働災害防止推進大会」を大阪・東京において社長をはじめ、中央安全衛生委員長、役職員、協力会社が参加して毎年開催しています。本年は、社長の挨拶、MOST会の挨拶、労働基準監督署からの祝辞をいただき大会安全宣言をしました。その後、優良現場表彰、優良協力会社表彰、優良協力会社従業員表彰に続いて特別講演等が行われました。



第29回労働災害防止推進大会(大阪) ▲

MOST会とは

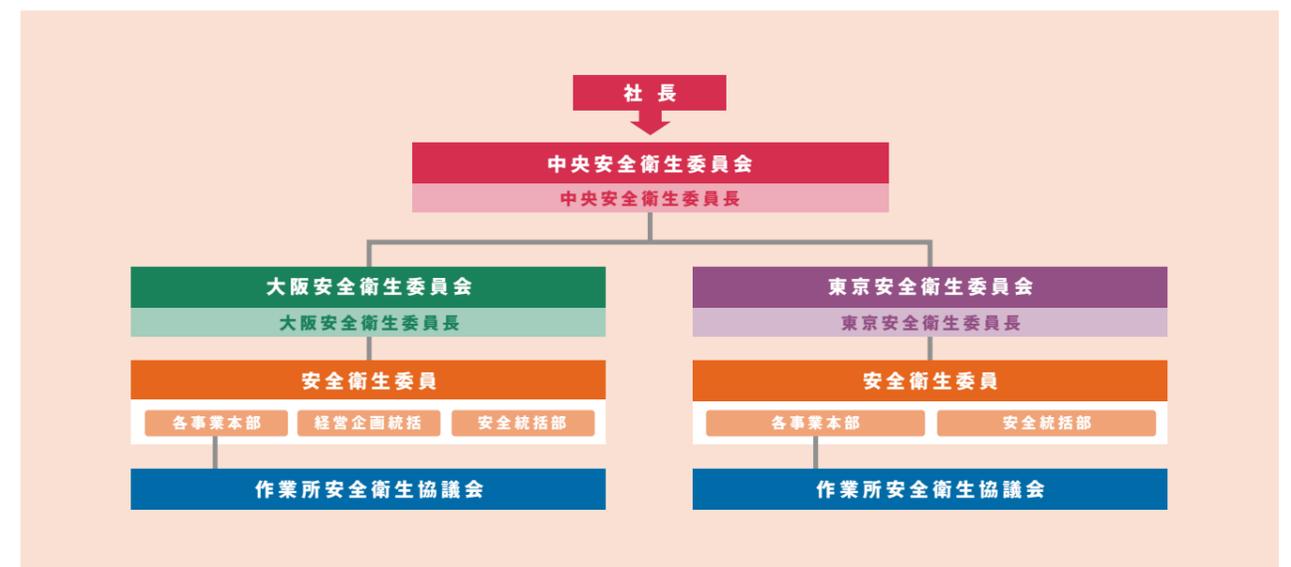
森組と協力関係にある企業のみなさまの会(正会員131社)。双方の発展に寄与することを目的とし、環境・安全活動や技術力の向上に向けての諸活動を行なっています。

地域住民のみなさまにも安心していただける施工体制の整備を心がけています



森組は現場の近隣住民のみなさまに騒音、振動、環境汚染、工事車両の運行などによるご迷惑を極力おかけしないよう、施工計画、安全対策、車両運行ルートなどを綿密に定め、その厳格な運用に努めています。また、地域住民のみなさまに工事の内容や安全対策などをより理解していただくために、工事着手前の近隣説明会や工事途中での現場見学会を開催し、安心と信頼の醸成にも努めています。

安全衛生委員会 組織図





JOY & JOY 自然保護を喜びに

地球環境に配慮しながら、 自然と共によりよく生きる。

美しい風景や大空、澄んだ水をいつまでも残したい。
誰もが願う中で、いま地球の症状は深刻化するばかり。
私たちにできることは、限られた資源を大切に有効に使うこと。
そして次世代にツケを残さない、持続可能な社会を目指して
新しい視点で創意工夫をすることです。
森組は地球環境との共存共栄をキーワードに活動しています。

限りある資源と共生するエコプロジェクト

自然に感謝する気持ちを大切に・・・

森組は「地球環境との共存共生」を環境方針のテーマに据え、建設事業を営む私たちにこそ発揮できる地球環境への貢献に日々挑戦し続けています。

環境方針

『地球環境との共存共生』

我々建設業においては、企業活動に伴い多量の資源を消費し、かつ多くの建設副産物を排出します。また、構造物の構築、土地の開発工事等によって環境を破壊し、いわゆる公害といわれる大気汚染、水質汚濁、振動・騒音等が発生させる原因ともなっています。しかし一方で環境への負の影響ばかりではなく、治山・治水工事や自然再生型河川工事等による自然環境の保全、構造物の耐久性を高め、それらのライフサイクルを延長させることによる省エネ・省資源への貢献、さらに汚染土壌復元のように汚染された環境の回復といった有益な活動も行なっています。私たち森組では「地球環境との共存共生」をキーワードに、関係する法令等を遵守し、環境に配慮した活動により環境への負の影響低減を計り、さらにプラスになる活動を促進させる創意・工夫を行い、かつこれらの活動を継続的に改善実施することで、よりよい環境づくり・環境保全に貢献いたします。

Mソイル

砕石スラッジ(脱水ケーキ)に、セメントを適量添加混合し、造粒・安定処理化した施工性に富む改良土がMソイルです。「砕石スラッジの資源化」をテーマに研究開発を行い、低価格・高強度な改良土「Mソイル」の製造技術を確立して参りました。リサイクル理念に基づき、お客さまのご要望に応えられる新しい路盤材を提供いたします。

※砕石スラッジ(脱水ケーキ)とは・・・砕石製造プロセスから排出される土・岩石の微粉末で砕石として利用できない副産物。

1 環境に配慮した製品

- 原料は自然界にある岩石で砕石製造の際に発生する微粒粉のため無害(第三者機関による土質分析済)
- 副産物の再利用化

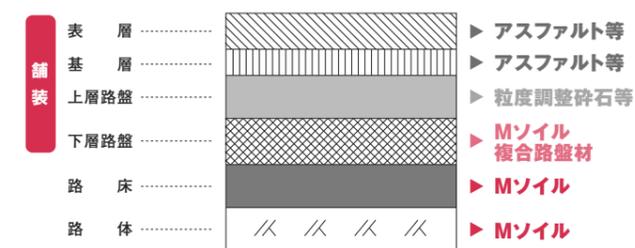
2 高強度かつ良好な施工性

- 道路用路盤材として規格値をクリア
- 粒状のため、締め固めしやすく、施工性が良好
- より強度の高い路盤材の提供が可能(セメント量の増加、クラッシャーランとの混合)

3 低価格な製品の提供

- 砕石製造の際に発生する副産物を原料とするため、低価格で提供可能

〈道路断面図〉



〈リサイクル改良土 Mソイル〉



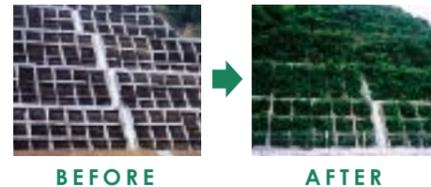
国土交通省新技術情報システム登録済
(NETIS登録No.KK-040049)

限りある資源と共生するエコプロジェクト

高次団粒SF緑化工法

植物が土に強い根を張る力や土の保水力が洪水や土砂崩れを防ぎ、自然の持続的な生存環境を守ります。このように私たちの安全な暮らしを支えてくれる植物。それらを植えることによって、国土の緑を多くし、美しくすることが緑化です。しかし、緑化を促進するために、種をまいたり、苗を植えたりするだけでは限界があります。森組の「高次団粒SF緑化工法」とは植物の育成に必要な水・空気・養分を供給できる表土の再生技術です。自然の表土と同じ高次団粒構造の基盤を形成して植物の育成を早め、自然本来の生態系を永続的に回復させることができる土を再生する技術。森組はこの工法を利用して国土の緑化に努めています。

〈 施工例 〉



高品質砕砂



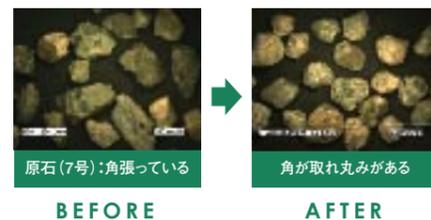
▲ 新JIS認証

森組の高品質砕砂（コンクリート用骨材）は新JISの認証を取得しました！

森組生瀨砕石所は「コンクリート用骨材の砕砂・砕砂」の新JISの認証を取得しました。旧JISは工場認定で製造設備が主な対象でしたが、新JISは製品認証のため、認証製品全てがユーザーと契約した基準値を満足しなければなりません。このため、今まで以上の品質の向上、製品の安定した供給、製造者の技術向上などが求められますが、森組砕石事業部はこれらの要求事項に積極的に取り組んでいます。

近年、生態系への影響や環境保全の観点などから海砂・川砂の採取禁止や採取規制の強化が進められています。このため、天然砂に替わる良質なコンクリート用細骨材の安定確保に対する要求が高まってきました。このような状況から、森組生瀨砕石所においては天然砂にも引けを取らない高品質な「砕砂」の製造を開始しました。従来の砕砂では、コンクリート用細骨材の使用比率は30%程度にとどまっていたのですが、70%～100%の使用率でも天然砂のコンクリート性能と変わらない「砕砂」の製造に成功しました。

〈 高品質砕砂 〉



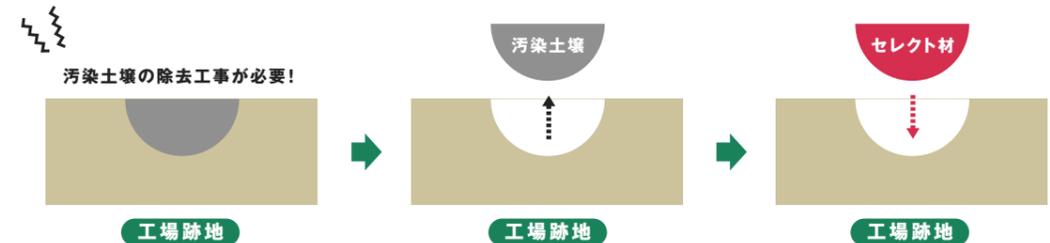
天然砂に替わる良質なコンクリート用砕砂

一般に角が取れた（丸い）川砂・海砂を使用したフレッシュコンクリートは、単位体積当たりの骨材量が多くなり、単位セメント量・単位水量を減らすことができます。所要のワーカビリティが得られる中で単位水量を減らすことができれば、乾燥収縮によるひび割れの少ないコンクリートができます。このようなニーズのもと森組は天然砂に替わる、粒径の丸いコンクリート用砕砂の製造を開始しました。

土壌汚染置換材

いま、工場跡地などの再開発にともない、重金属、揮発性有機化合物などによる土壌汚染が心配されています。森組生瀨砕石所では、砕石原石採取の際に発生する表土部をセレクト材（埋戻・盛土材）として製造出荷しています。このセレクト材は汚染土壌の除去が発生した場合、その場所の埋戻材として最適な材料です。砕石原石と同じ場所から採取されるため、有害物質も含まれていません。また適度に砕石も含まれているため、よく締まるのも特徴です。

〈 土壌汚染置換材のしくみ 〉



2002年5月
土壌汚染対策法が
施行されました

森組は2004年2月20日に環境省から土壌汚染対策法に基づく指定調査機関の指定を、同年8月25日には大阪府生活環境保全等に関する条例による指定調査機関の指定を受けております。

環境省指定調査機関 指定番号 環2004-1-100 / 大阪府指定調査機関 指定番号 大阪府H16-1-13

ISO14001の取得

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001:2004を取得し、「環境方針」の定めのもと部門単位で環境目的・目標を達成し、全社をあげて環境保全活動を推進しています。

ISO14001登録証 ▶



森組の中期環境目標と達成

森組では中期環境目標（2007年度～2009年度）として次の3つを定め、達成に向けて従業員一人ひとりの環境保全に対する意識向上に努めています。

CO₂排出量削減

環境目標と結果	二酸化炭素排出量を2003年度比2007年度以降3年間で13%以上削減する目標を設定し、部門毎に「低排出ガス対策機械の使用や電力使用の抑制」などの活動により、1年目の2007年度において目標値を達成しました。	達成度	😊😊😊
---------	--	-----	-----

廃棄物排出量削減

環境目標と結果	廃棄物排出量を2003年度比2007年度以降3年間で1%以上削減及びリサイクル率の1%以上向上すると目標を設定し、部門毎に「分別排出や再資源化」などの活動により、1年目の2007年度において目標値を達成しました。	達成度	😊😊😊
---------	--	-----	-----

グリーン調達

環境目標と結果	グリーン調達を2007年度以降3年間で10項目以上実施すると設定し、部門毎に「再生資材の採用」などの活動により、1年目の2007年度において目標値を達成しました。	達成度	😊😊😊
---------	---	-----	-----



JOY & JOY 喜びを行動に

人や地域とつながって、 広く貢献できるという喜び。

森組が、長きにわたって歩むことができた感謝の思いは、地域社会に還元することで喜びに変わります。

地元のみなさまに安全・安心を直接確かめていただき、子どもたちの好奇心や学ぶ気持ちを育てる現場見学会、災害発生時に迅速対応するための緊急資材や機材配備など、地域社会の安心や快適生活の一助になるよう努めています。

地域社会との交流と貢献

それぞれのコミュニティとともに歩む幸せ

地域社会に暮らすステークホルダーのみなさまと、地域の発展や子どもたちの安心して暮らせる町づくりを一緒に行なうことこそが、私たち森組の担う社会貢献だと考えています。地域や社会のために貢献することだけでなく、共に育てることを大切にしたい、一人ひとりの従業員がこの気持ちを心に各地で活動しています。また、信頼される企業として、幅広い事業活動での経験や利点を生かした分野でも、大きな役割を果たすべく貢献活動に努めています。

緊急資材の配備

森組では災害発生時の初期活動に迅速に対応するため、また環境破壊などの拡大を未然に防ぐために、緊急資材を9ヶ所の地区に配備しています。この緊急資材は地域住民・自治体等の緊急要請にも応えることができる体制を整えています。

- 東京都中央区
 - 千葉県茂原市
 - 福井県三方郡
 - 三重県桑名市
 - 大阪府茨木市
 - 和歌山県紀の川市
 - 兵庫県西宮市
 - 兵庫県加東市
 - 福岡県北九州市
- 2008.7.25現在



災害時活動地域協定

森組はそれぞれの地域の要請に応じ、災害発生時の人命救助、被害調査、二次災害防止や復旧作業等の応急対策作業、仮設住宅の建設等に迅速に対応するため、人員・重機・資機材等の確保を応援する協力協定を各地の複数自治体と締結しています。

地域社会とのコミュニケーション

Communication 1



付替市道東畑瀬御殿線トンネル貫通式を実施！

嘉瀬川ダム工事の進む佐賀市富士町にて、ご来賓とともに地元住民の方々をお招きし、付替市道東畑瀬御殿線トンネル貫通式を実施いたしました。恒例のくす玉割り、たる神輿、鏡開きで賑わい、万歳三唱にてめでたく終了。地域の方との交流も深めることができ、無事貫通式を終えることができました。

Communication 2

道路ふれあい月間イベント、御堂筋一斉清掃に参加！

国際マラソンで御堂筋の美しさを世界にアピールするチャンス！と地元企業が積極的に御堂筋清掃に取り組みます。大阪市の都心部は御堂筋を中心に形成されており、正に大阪の大動脈です。美しい銀杏並木の景観は「大阪みどりの百選」にも選ばれており、森組本社はこの美しい大通りのすぐ近くにあり。皆に愛される地元企業として、大阪の経済活性化のために御堂筋を大切



にしていくことは森組の使命であると考えています。



JOY & JOY 働くことを喜びに

社員が生き生きしていると
企業ものびのび発展する。

企業にとっての喜びは、大切な財産である人材が育つこと。
一人ひとりがより大きな目標にチャレンジし
新たな価値を生み出すプロフェッショナルとなって、
個々の力を結集させれば、企業パワーもさらに向上します。
社員が、森組で働くことを喜びにできるような
環境づくりや人事制度、キャリア開発支援を行っています。

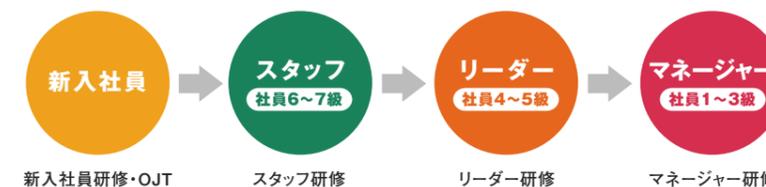
森組の人材育成

森組の人材は信頼と安全に繋がる財産です。

歴史ある企業として、私たち森組の人材育成に対する姿勢は大きな資産であると自負しています。社員が自由に発言でき、個人の希望が尊重される環境を整え、一人ひとりが生き生きと活躍できる企業であるよう取り組みを進めています。

人事制度

学歴・年齢・勤続年数による序列ではなく、部門と個人の成果、業務プロセス、職能を総合的に評価し、その結果に伴って昇格・昇給が決定されます。



人材育成

〔森組の人材育成の4つの柱〕

1

目標管理制度



個々の社員が所属部門の目標や戦略に応じて個人目標を設定し、その達成のための実行力・努力を評価します。達成状況を自己管理する過程において上司とのコミュニケーションを図り、業務遂行レベルを引き上げていく教育制度です。

2

キャリアプラン制度

リーダー・スタッフ職を対象に、自身がやりたい仕事や配属されたい部署などを自由に申告できる制度です。建設現場への配属など建設業の特殊性はあるものの、可能な限り社員の意欲と能力に配慮した適性配置に努めたいと考えています。

4

技能資格取得一時金制度

森組は社員一人ひとりの専門知識と技術力を向上させることが、会社力の向上に繋がると考えています。社員の技能資格取得を奨励するため、各種技能資格ごとに取得一時金（最高50万円）を支給しています。

3

教育研修制度

森組の教育・研修制度ではOJT（実際の職場で知識や技術を習得させる教育）を最重視しており、入社後3年間にわたって専属の「育成責任者」を任命し、新入社員の育成にあたっています。

新入社員研修・OJT	ビジネス常識、安全知識、業務関連の基礎的知識を修得し、社会人としての基礎能力を養います。
スタッフ研修	入社後6ヶ月と3年目の2回にわたって社外機関での研修を受講し、仕事へのモチベーションを高めます。
リーダー研修	社員5級への昇格時にリーダー（中堅社員）としての知識や思考力を高めます。
マネージャー研修	社員3級への昇格時にマネジメントの基本と重要性を学んでいます。
社外セミナーへの参加研修	部門ごとに業務上必要な専門知識の習得のため、適宜受講しています。
人権に関する研修	同和教育をはじめ人権に関する教育を年6回開催し、様々な階層の社員が参加し、意識を高めています。
コンプライアンス研修	法令・社会倫理規範等の遵守、セクハラ・ハワハラ等の撲滅に向けて各種の研修を実施しています。
安全衛生研修	現場事故防止を目的とした効率のよい安全衛生教育を行うため、eラーニングを導入しました。

森組の各種制度と雇用制度

社内提案制度

社員の個性溢れるアイデアや企画が新しいプロジェクト、業務の効率化を生むのです。個人レベルでの発想を積極的に受け入れることができるよう、2004年に社内提案制度を導入しました。社員は業務改善や企画案を会社に提出し、その内容と検討結果は速やかに社内公表されます。多くの社員の目に触れることにより、さらに多数の提案が実行され、またより多くの提案が反映されています。常に風通しの良い組織と活気のある職場を目指す森組らしい制度です。

女性が働きやすい職場環境づくり

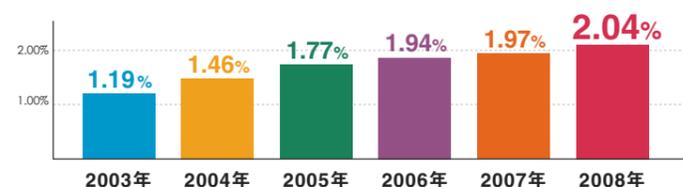
森組では性別に関わりなく能力を発揮できる職場環境を整備し、社員の多様性を尊重した経営を行なっています。男女差別のない人事制度の導入やセクシャルハラスメント相談窓口の設置など、これまでの取り組みの成果として女性社員の職域も広がり、2005年には初の女性幹部が誕生しました。今後も女性の能力発揮とキャリアプランが構築される職場作りを積極的に継続して推進します。

採用への取り組み

森組では関連法規を遵守した求人・採用活動を展開するため、公正採用選考人権啓発推進員を配置し、応募者の資質や長所を見出す視点に立った面接マニュアルを利用するなど、基本的人権を尊重した公正な採用を行なっています。また、面接試験から採用内定通知までの期間を極力短縮し、志望者の精神的負担をできる限り軽減できるよう取り組んでいます。

障がい者雇用への取り組み

〈 障がい者雇用率 〉



障がい者の雇用において積極的な取り組みを行なっています。個々の個性を活かし、健常者と同じ職場で働くことを促進することが継続的な雇用に繋がると考えています。国が定める法定雇用率（1.8%）のさらなる向上を目指します。

60歳定年者の再雇用制度

森組では60歳定年を迎える社員の雇用確保措置として、2006年4月より継続再雇用制度を導入しています。この制度の導入で会社の指定要件を満たす社員が定年以降も継続して再雇用を望む場合、最長で満65歳に達する事業年度まで再雇用を更新することが可能となります。

森組の福利厚生

主な福利厚生

森組では法定の福利厚生制度（産前産後休暇、介護休暇、育児・介護短時間勤務など）はもちろんのこと、独自の福利厚生制度を整備し、社員の生活を支援しています。

育児休暇制度

子どもが2歳に達するまで
育児休暇を取得することができます。
（法定は1歳6ヶ月まで）

半日有給休暇制度

社員の生活様式の多様化に対応し、
有給休暇が半日単位で取得でき、
効率的な休暇の利用が促進されます。

子どもの看護休暇

小学校就学前の子どもがいる社員は、
有給休暇とは別に子ども一人について
年間8日の看護休暇が取得できます。（法定は5日）

永年勤続休暇

勤続10年・20年・30年の社員が、
有給休暇とは別に特定休暇（2日～3日）を
取得することができます。

厚生年金基金

森組では国の厚生年金制度だけでなく、さらに
年金が上乗せ支給される全国建設厚生年金基金に
加入し、社員の人生設計を援助しています。

社員持株会制度

森組の社員は毎月の給与から一定額を持株会に
拠出することによって、まとまった資金が無くても
森組の株式を購入することができます。

社員貸付金制度

住宅購入資金、住宅補修費、医療・教育等の一時金、
大学授業料等の教育資金など、社員の資金需要に
応じて森組が低利での融資を行なっています。

社員の健康管理

心身ともにわたる健康管理は人的資源に頼る森組にとって
大切なテーマです。定期健康診断のほか、安価な人間ドック
の提供など、産業医と連携して社員の健全な日々を守ります。

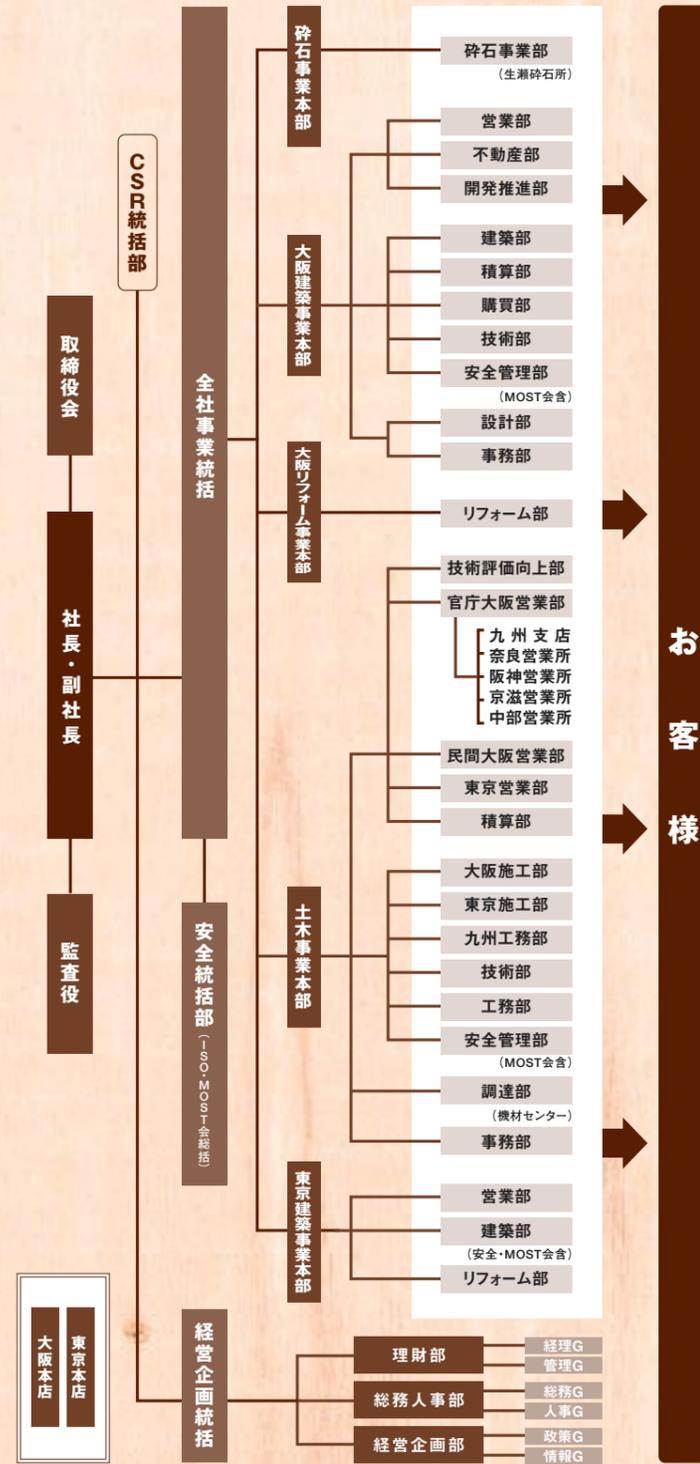
禁煙の実施

環境・健康への配慮から、
森組では全執務室を全面禁煙としています。

(会社概要)

- **社名** 株式会社 森 組
- **英文表示** Mori-Gumi Co.,Ltd.
- **創業年月日** 1899年6月8日
- **設立年月日** 1934年2月3日
- **資本金** 16億4,000万円
- **営業種目**
 - 1) 土木建築その他附帯工事及び浄化槽工事の請負並びに工事の調査、測量、設計、監理
 - 2) 砕石、石材並びにその他の地下資源の採取、売買
 - 3) 公害防止施設並びに機器の製造、販売
 - 4) 岩石を材料とした二次製品の製造、販売
 - 5) 不動産の売買、交換及び賃貸並びにその代理、仲介
 - 6) 公共施設等の維持管理及び運営
 - 7) 建築・土木資機材の売買
- **従業員数** 342名(2008年3月末日現在)
- **営業許可**
 - 特定建設業許可** 国土交通大臣許可(特-18)第2404号
 - 一級建築士事務所登録** 大阪府知事登録(ル)第2647号
東京都知事登録 第29576号
 - 採石業者登録** 兵庫県 第518号
 - 宅地建物取引業者免許** 国土交通大臣免許(10)第2241号
- **子会社・関連会社**
総合スポーツ施設株式会社/大拓林業株式会社

(組織図)



2008.8.1現在

(主要取引先)

官公庁

- 国土交通省
- 農林水産省
- 防衛省
- 東日本高速道路(株)
- 中日本高速道路(株)
- 西日本高速道路(株)
- 首都高速道路(株)
- 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 独立行政法人 水資源機構
- 独立行政法人 都市再生機構
- 独立行政法人 森林総合研究所 森林農地整備センター
- 日本下水道事業団
- 東京都
- 大阪府
- 大阪市
- 京都市交通局
- その他官公庁

民間企業

- (株)長谷工コーポレーション
- 阪急電鉄(株)
- (株)阪急百貨店
- 東宝(株)
- 北大阪急行電鉄(株)
- 神戸電鉄(株)
- (株)阪急交通社
- 阪急バス(株)
- 阪急不動産(株)
- オーエス(株)
- 大阪神鉄豊中タクシー(株)
- 東宝不動産(株)
- (株)東京楽天地
- 東宝舞台(株)
- 他阪急阪神東宝グループ各社
- 関西電力(株)
- 大阪ガス(株)
- 東急不動産(株)
- 住友不動産(株)
- コーナン商事(株)
- (株)ニトリ
- (株)第一プロパレス
- サムティ(株)
- 三洋ホームズ(株)
- 医療法人社団 友誼会
- バナホーム(株)
- 栄泉不動産(株)
- 日本綜合地所(株)
- 双日(株)
- ニチモ(株)
- 三井不動産(株)
- 神鋼不動産(株)
- (株)コスモスイニシア
- (株)ライフコーポレーション
- セントラル総合開発(株)
- つるや(株)
- (株)明豊コーポレーション
- (株)アービング
- (株)新日本建物
- (株)シティクルーズ
- (有)富士地所
- 大阪高速鉄道(株)
- 帝人在宅医療(株)
- 医療法人社団 緑水会
- 社会福祉法人 善光会
- 平和不動産(株)
- (株)エルシード
- (株)エイビス
- その他

順不同

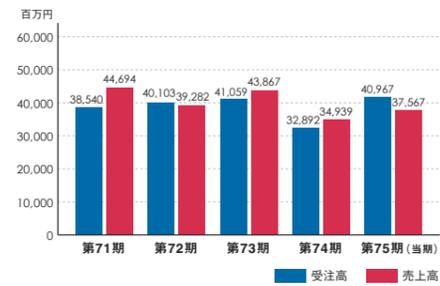
〔 I R 情報 〕

〔 沿革 〕

第75期

2007年4月1日～2008年3月31日

受注高・売上高の推移



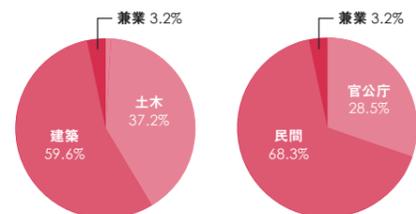
利益の推移



当期の部門別状況(受注高)



当期の部門別状況(売上高)



- 1899年6月 奈良県吉野郡において土木建築請負として創業
- 1931年5月 国分砕石所開設
- 1934年2月 個人企業を株式会社組織に改め、資本金50万円をもって(株)森組を設立
- 1949年4月 生瀬砕石所開設
- 1949年10月 建設業法による建設大臣登録
- 1961年9月 東京営業所開設(1964年4月支店昇格)
- 1963年7月 大阪証券取引所市場第二部へ株式上場
- 1971年2月 宅地建物取引業による大阪府知事免許取得(1976年7月建設大臣許可に許可換)
- 1971年11月 採石法による採石業者登録
- 1973年12月 建設業法改正により建設大臣許可を取得
- 1988年1月 東京本店設置(1996年6月 東京支店併合)
- 1990年12月 阪急電鉄(株)の関連会社となる(第三者割当増資・資本金70億1300万円)
- 1994年6月 大阪本店設置
- 2004年8月 16億4000万円に減資
- 2007年5月 (株)長谷工コーポレーションと建築工事にかかる共同施工体制の構築等の業務提携締結
〔 阪急電鉄(株)が保有する当社株式12,535,000株(発行済株式総数の38.21%)の内、9,575,000株(発行済株式総数の29.19%)について、(株)長谷工コーポレーションが取得 〕

▼ ISO取得関係

- 1998年5月 ISO9002認証 東京土木にて取得
- 1999年12月 ISO9001認証 全社(砕石事業を除く)にて取得
- 2001年11月 ISO14001認証 全社(砕石事業を除く)にて取得
- 2002年11月 ISO9001 2000年版に改定
- 2005年12月 ISO14001 2004年版に改定

